

# 議員定数を14人に改正

## 来年4月の一般選挙から

### 6月定例会

6月定例会は、6月9日から17日まで9日間の会期で開催されました。町からは、報告が2件、契約の締結が2件、協議事項1件、補正予算1件について、議案が提出され審議しました。これらはすべて可決されました。(審議結果は9ページへ掲載)

また、議員発議で、議員定数の一部改正条例案が提出され、これに対する修正案も出されました。採決の結果、「定数14人」とする原案が可決されました。

一般質問には5議員が登壇しました。その他、請願が3件提出され、採択されたため、関係機関へ意見書を提出しました。

定例会最終日に、議員定数を4名削減し「14人」に改めるという発議案が、柳下清議員他8名より提出されました。

この発議案の説明・質疑の後、広瀬弘二議員他1名より、修正案が提出されました。原案の「14人」を「16人」に修正を求めるものです。

これにより、修正案の説明・質疑の後、討論は原案と修正案を併せて行いました。

無記名投票による採決の結果、「定数16人」とする修正案は、可とする賛成票7、否とする反対票8及び賛否不明票1で否決となりました。また、「定数14人」とする原案は、可とする賛成票9、否とする反対票6及び賛否不明票1で可決されました。

この条例は次の一般選挙から適用され、多古町の議員定数は「14人」となります。

※賛否が明らかでない投票は会議規則により否とみなされます。

### 議員定数を「14人」に！

#### 柳下清議員他8名より発議案提出

#### 【提案理由】

4回にわたる特別委員会のなかで全議員の意見を聞いたところ、「17人」がよいという人が2人、「16人」がよい人が5人、「14人」がよい人が10人でした。したがって多数の賛同があった議員定数を4人削減して「14人」とする発議案を提出することにしました。

#### 【質疑より…】

●議員の数が多という町民の声があり、多古町の有権者数からみても14人でよいのではないかという意見が多い。

●もっと区長の意見を町に取り入れることができれば、町民の声は町に伝わります。

●民意を反映するためには、町全体の代表として議員自ら町民のなかに入り、意見を聞くなど努力すれば14人でも充分できます。

### 【これまでの経緯】

議会では、行財政改革や分権型社会が進む中、多古町の現状に見合った議員定数について協議するため、平成21年9月から、議員全員による「議員定数等調査特別委員会(柳下清委員長)」を設置し、4回にわたり調査研究を進めてきました。

今定例会においても同委員会を開催し協議し、現在の定数「18人」から、1人減の17人へ、2人減の16人へ、4人減の14人へ削減する意見などが出され、協議されてきました。

### 発議案14人を「16人」に修正案提出

#### 広瀬弘二議員他1名から提出

#### 【提案理由】

市町村議会の議員定数は地方自治法の規定により、人口数の段階に応じて一定の範囲内で決めるということになっている。多古町の人口規模では22名以内だが現行条例では18名である。原案の14名案は自治法で示される5千人未満の町村に対応する人数であり、あまりにも少なすぎる。

議会は住民を代表しつつ、討論の経過を経て少数の意見をも考慮しつつ、多面的な意志を統合し、町村の意志を決定するためにふさわしい規模であることが必要であるとされています。多古町の人口規模・財政規模から生じる事務量は膨大であり課長級職員に町長・副町長を加えれば20名が議会に出席する。議会として町政への提言・監視などを行うために14名では対応しきれない。

地方分権(主権)が叫ばれている中で議会の責務はますます増大している。専門的識見も備えた議員を擁するためには14名では少なすぎるので「16名」という修正案を提出します。

## 修正案「定数16人」に対して討論

### 賛成

土井秀敏議員

議員定数削減の意見をよく聞く、住民の議会への不信感が議員削減の声を後押ししていると感じます。住民の声は議会存立の基盤ですので、それに応える責任があると思います。町の財政健全化の努力に、議会も最大限の協力をしていく。大衆に迎合しない、大事な姿勢ではあるが、この件に関してはそれにあたらないと考えます。

### 賛成

石渡悦子議員

安易な定数削減は、多様な民意の反映、少数意見の尊重という点で後退です。住民の代弁者である議員は様々な立場の人(町で生まれ育った方、新しく移り住んで来た方、年齢、性別、職業)が存在でき、議会がその役割を發揮できるようにすることが、住民に対する議会のあり方であると思います。

### 賛成

飯田良助議員

地域の農家や兼業農家の声をききますと、高齢化や耕作放棄の現状があります。一方、地域の道路事情を見渡しますと、整備状況に隔たりがあるように感じます。こうした地域の要望を吸い上げるためには、これ以上の削減は考えものです。そこで、定数は「16人」が妥当ではないかと考えます。

### 賛成

椎名義光議員

私は議員定数を減らす必要はないという考えがあります。過去の特別委員会においては、意見をすり合わせし、中間をとるなど、全体の意見をまとめて決めてきた経緯があります。本来は全会一致で発議するものと考えます。賛成者の数が多いというだけで決めてしまうやり方には違和感があると思います。

